

重点施策②

未来につながる、

誰もが充実した生活を 送られるまちづくり

アイヌ施策 *Ainu policy*

市内のアイヌの人々のニーズを把握し、『登別市アイヌ施策推進地域計画』に基づき、さまざまな事業に取り組むことにより、アイヌ文化の振興を図るほか、地域活性化を推進していきます。

- 登別地区を中心としたアイヌ文化関連の史跡などをめぐる周遊マップの作成など 209万円
- アイヌ文化などの情報発信機能や観光インフォメーション機能、地域交流の場としての機能を有した（仮称）登別市情報発信拠点施設の建築工事着手（令和4年度中のオープン予定）
1億9,356万円



子育て *Child rearing support*

未来を担う子どもたちの健やかな成長のため、妊娠、出産、子育て期にわたる切れ目のない支援を進めることで、誰もが安心して産み・育てられる環境の充実を図っていきます。

- 不妊症などに関する検査や治療に対する助成
不妊症に関する検査や治療を受けている方々の経済的負担を軽減するため、北海道の事業に上乘せして助成を行うほか、北海道の制度では所得要件により対象とならない夫婦に対しても市が助成することで、不妊症治療を受けやすい環境を整えます。
- 産後1カ月の産婦健康診査費用の助成 147万円
- 新生児の聴覚検査費用の助成 143万円
- 視機能検査機器と尿自動分析装置の導入
- 一時保育の拡充
令和3年度より、登別保育所に加え、栄町保育所と幌別東保育所においても、一時保育を実施します。
- 国民健康保険税の引き下げ



教育 *Education*

児童生徒のより良い学習環境を整備するため、デジタル化を進めるなど、次世代を担う子どもたちを育む環境整備を支援していきます。

- GIGAスクール構想に基づいた児童生徒1人1台パソコン端末の本格的な活用開始
- 中学校への学校司書の配置
- 小中学校への校務支援システム導入
- デンマーク王国の選手などとの交流（ホスタウン事業） 189万円

GIGAスクール構想とは

1人1台の端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、これまでの教育実践にICTを組み入れ、『学習活動の一層の充実』、『主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善』を図り、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現させるという国が進める構想。

福祉 *Welfare*

誰もが住み慣れた地域でいきいきと元気に暮らしていけるよう、地域を支える多くの市民や団体などとの協力・連携を図るとともに、地域共生社会の実現を目指し、包括的な支援体制の整備等の構築に向けた取り組みを進めていきます。

- 第3期登別市地域福祉計画の策定
- お互いに人格と個性を尊重し、支え合いながら生活できる地域社会の実現に向けた取り組み
 - ・生活支援体制・相談支援体制の充実
登別市総合相談支援センターe'nや登別市児童デイサービスセンターのぞみ園を中心に、関係機関と連携し、生活支援体制・相談支援体制の充実を図ります。
 - ・あいサポート運動の促進
- 地域包括ケアシステムの深化・推進
- フレイル対策・糖尿病性腎症重症化予防の普及啓発など
 - ・後期高齢者健康診査経費 1,865万円
 - ・後期高齢者歯科健診経費 198万円
 - ・高齢者保健事業・介護予防一体的実施経費 86万円



市は、4月から新たなグループを設置し、高齢者の保健事業と介護予防を一体的に取り組み、糖尿病性腎症重症化予防や低栄養防止、通いの場等におけるフレイル予防の普及啓発や健康相談を実施します。